

## 日本産業保健法学会 第2回学術大会のご案内

第2回学術大会では統一テーマ「精神障害の補償・賠償と法／テレワークの産業保健と法」のもとプログラムを企画し、法律家をはじめ精神医療・精神保健・福祉・相談に携わる方々が職域・職種を越えて集い、日頃の産業保健と法に係る最新の成果を発表し活発な議論を交わせるよう鋭意準備を進めています。皆様のご参加をお待ちしております。

■開催方式：オンライン開催（ライブ配信、およびオンデマンド配信）

＊認定産業医研修会を含めた一部セッションのみ現地開催

（会場：全国町村会館 〒100-0014 東京都千代田区永田町 1-11-35）

■会 期：ライブ配信（現地） 2022年9月17日（土）・18日（日）

オンデマンド配信 2022年10月1日（土）～31日（月）（予定）

■統一テーマ：精神障害の補償・賠償と法／テレワークの産業保健と法

■大会長 黒木 宣夫（東邦大学 名誉教授）

副大会長 田中 克俊（北里大学大学院医療系研究科産業精神保健学 教授）

副大会長 三柴 丈典（近畿大学法学部 教授）

事務局長 加藤 憲忠（富士電機株式会社 産業医）

■参加費：第一次登録（～8月31日）：会員7,000円、非会員10,000円、学生2,000円

第二次登録（～10月30日）：会員9,000円、非会員12,000円、学生3,000円

■プログラム：

1) 大会長講演

「労災を巡る裁判事例（経験事例を通して）」

(2) 招待講演（関係学問の最前線（法学枠））

「ギグエコノミーと安全衛生法」

(3) メインシンポジウム

「テレワーク定着化に向けた健康管理・労務管理上の課題と法」

(4) シンポジウム1（日本産業精神保健学会との連携シンポジウム）

「精神障害者の復職と法（復職判定の手続と基準～医学と法学から～）」

(5) シンポジウム2

「精神障害者の雇用促進と法－合理的配慮を中心に」

(6) シンポジウム3（学問の最前線（産業保健枠））

「職場における遺伝情報の取扱いと対応の実際～遺伝性腫瘍の仮想事例からの接近～」

(7) シンポジウム4

「新興感染症対策と法」

(8) シンポジウム5

「建設アスベスト訴訟を振り返る」

(9) シンポジウム6

「ストレスチェックの現状と活用」

(10) 教育講演 1

「人的リスク管理学：性格傾向と事例別の対応方針」

(11) 教育講演 2

「労働衛生行政の動向」

(12) 関係学問の最前線（精神医学枠）

「性同一性障害治療 <GID に対する手術（性別適合手術）>」

(13) 社労士会連携シンポジウム

「健康で安心して働ける職場をつくる就業規則」

(14) 連携学会シンポジウム 2（日本産業ストレス学会）

「裁判所の産業ストレス認定の検証シリーズもの」

(15) 連携学会シンポジウム 3（日本職業・災害医学会）

「両立支援と法」

(16) 事例検討

「精神疾患患者の復職をめぐる 1 事例と法」

(17) 模擬裁判

「テレワーク・遠隔産業保健・復職判定等が問題となる事例について」 1) 講演

■参加申込および問合せ先：以下の大会ホームページに掲載。

<https://jaohl2022.info/>

一般社団法人 日本産業保健法学会

(〒162-0833 東京都新宿区筈笥町 43 新神楽坂ビル 2 階 TEL : 03-5946-8844)